

おすすめは燗酒
きき酒会に500人

花山

【東京】地方銘酒専門
御の俵花山(台東区、大
澤千金社長)は10月12日、
東京・両国の第一ホテル
で、秋のきき酒会を開催
し、同社が特約する銘酒
11銘柄をはじめ、多くの
高級清酒を賞味してもら
い、商談を進めた。
きき酒会には、首都圏
の酒販店、料飲店約50
0人が参加し、11銘柄の
代表的な特定名称酒をき
き酒し、燗酒などといっ
た飲み方、おすすめ方を蔵
元の社員から教わってこ
いた。

特に燗しておいしい出
展酒は次の通り。

▽墨廻江(宮城、特別
純米)▽麓井(山形、き
もと純米辛口)▽明鏡止
水(長野、熟成純米吟醸・
金紋錦)▽正雪(静岡、
低温熟成純米吟醸・吟ぎ
んが)▽九頭龍(福井、
大吟醸燗酒(限定品))
▽益荒男(石川、山廃純
米)▽喜榮長(滋賀、特



第一回より毎年金賞を受
賞している。
なお、同社以外の山形
県の出産蔵の入賞は、渡
会本店、竹の露、初孫
くとき上手、六歌仙、朝

別純米・山田錦60)▽瀧
自慢(三重、辛口純米)
▽扶桑鶴(島根、熟成純
米吟醸・佐香錦)▽庭の
うぐいす(福岡、熟成純
米吟醸「やわはだ」▽
栄田・山穀(福岡、純米・
山田錦&穀長都)

同社の大澤社長は、本
紙の質問に対し「当社は
地方銘酒専門卸として
地方銘酒の発展に尽力し
ており、現在、年間5千
石を販売している。当社
の清酒の販売動向は、昨
年9月ごろから底打ち傾
向で、前年をクリアして
きたが、今年は8月ごろ
から伸長に向かい、手ご
たえを感じている。この
秋以降は、地方銘酒の動
きがさらに上向くのを期
待して、酒販店、料飲店
などの協力をぜひお願い
したい」と語っていた。

24面体150mlびん開発

花山 日本酒復権に願い込め

【東京】地方銘酒専
門卸の花山(台東区)
は、こだわりのカップ
酒に始まり、180ml
の小びん清酒の需要が
増加傾向の中で、特約
蔵元の要請を受けて、
小びん開発に取り組ん
できた結果、独自に「P
ASSION15
0」という名の清酒び
んを開発した。
これは名の通り、1
50ml入りの24面体の
画期的、かつファッ
シオナブルな黒びん。
180mlが全盛の中
で、150mlにしたこ

出羽桜酒造、現

仲野社長が現地
へ参加し、オー
プニングの鏡開
きで出羽桜の樽
が使われたII写
真II。



り、このオリジナルび
んを同社特約の蔵元や
地方の蔵元が「國酒の
復権を早く達成させる
との信念で価値観を
共有できれば取り扱
いをすすめたい」(同社
として)。
このオリジナルびん
の製作用は、中央硝
子(大阪)、北関東以
北は丸藤硝子に依頼。
注文は24本売り(12本
で1・80びんと同量
で対応することとし
ており、同びんを使っ
た商品を酒販店、料飲店
の拡売を期待してい
る。